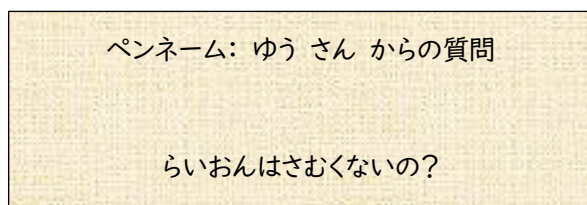


皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

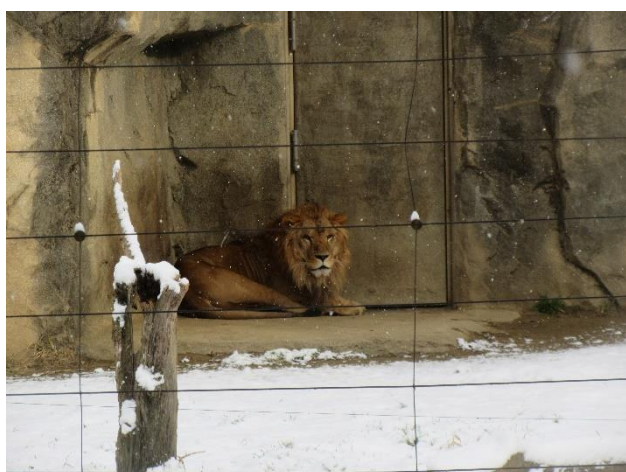
それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。



ご質問、ありがとうございます。

動物園では世界各地に生息している動物を飼育展示しています。本来、暖かい地域に生息している動物にとって、日本の冬は寒くないのでしょうか。今日は、動物園での寒さ対策についてご紹介していきます。



当園で飼育しているライオンは、アフリカライオンという種類で、野生ではアフリカのサバンナに生息し

ています。アフリカのサバンナは、1年の平均気温が20℃を超える、とても暖かい地域です。そのため、ライオンは寒さにあまり強くありません。当園のライオンも寒い日は軒下でじっとしていますが、実はこの軒下の床に寒さ対策のヒミツが隠れています。

それは、床暖房。床の下に隠れているので、見るだけではわかりませんが、ライオンは暖かい場所をちゃんと知っています。冬の間は床暖房を入れることで、動物の寒さ対策をしているのです。

このほかにも、スマトラトラがよく寝ている大きな岩や、アフリカゾウやキリンの寝室の床にも床暖房が隠れています。



ちなみに、現在動物園で飼育している動物の多くは、日本の動物園で生まれ育った個体です。野生下での生息地の環境は様々ですが、生まれた時から日本で暮らしている個体はある程度、日本の気候に順応しています。そのため、動物園では、野生での温度や湿度を再現するのではなく、寒すぎる日に動物がそれをしのげる場所を用意する形で飼育をしています。

みなさんも、しっかり寒さをしのげる格好で動物園にご来園ください。